

竹の子会の基本目標

1. 人間形成への修練
1. 地域社会への奉仕
1. 会員相互の親睦



竹の子会会報

No.597

竹の子会総務委員会

平成31年2月8日

新年のごあいさつ



第63期
会長
堀 陽介

明けましておめでとうございます。旧年中は会員、特別会員の皆様にご協力を賜り、誠にありがとうございました。新年を迎えるにあたり謹んでお慶び申し上げます。無事に第63期が折り返しを迎えることができましたことは、皆様のご尽力の賜物と感謝申し上げます。

今期はスローガンといたしまして、『報恩謝徳を胸に！～感謝で高める結束力～』を掲げさせていただきました。会員の皆様には、仲間から受けた恩や恵みを当たり前と思わず、それに対して報いようと感謝の気持ちを大切にしていきたいという思いがあります。私自身が、何か役をやる度に周りの仲間に助けられ、会長という大役まで務めさせていただくようになりました。組織図などに関しても、私が経験してきたように、役がその人を変えるという思いもあり人選させていただきましたが、第63期の前半を終えて、常任はじめ委員長、副委員長の皆様には責任感を持って取り組んでいただき非常に嬉しく思っております。近年では会員数減少と共に、入会から間もない時期に委員長、常任を経験することが常となっておりますので経験不足は否めない部分はございますが、早い時期に責任ある役職を任せられる良い面もございます。是非会員の皆様には、第63期後半も自分達のやりたいこと、思ったことを形にして楽しく取り組んでいただきたいと思っております。

2名の新入会員を迎えた7月の「会員オリエンテーション」から始まり、7月度例会「総会懇親会」では非常に多くの御来賓、特別会員の皆様にお越しいただき第63期のスタートを盛大に迎えることができました。8月度例会「水門川万灯流し」では当会から渡邊光輝実行委員長を輩出し、市制100周年とコラボレーションした手筒花火との共演により、より幻想的な雰囲気となり、市民の皆様は大いに喜んでいただきました。福井県の「ツリーピクニックアドベンチャーいけだ」に赴いた「交通遺児夏のつどい」では大自然の中で体を使った遊びやBBQを通

して、児童達と共に自然を満喫し、楽しい夏の思い出となりました。9月度例会「講師例会」ではビジネスマナーの再確認ということで渡辺美香先生をお招きし、ビジネスマナーだけではなく、ネクタイやスーツで相手に与える印象の違いなどカラーを交えての参加型の例会で楽しく学ぶことができました。10月度例会「十万石ふるさとまつり」では、残念ながら今期はつどい協議会として神輿を担がないということになり運営に回りましたが、同時開催された朝鮮通信使行列にも参加させていただき、駅通りにはディズニーパレードが来たことも手伝って大盛況に終わった十万石まつりでした。11月度例会「家族親睦会」では、福井県海浜自然センターへ行き、会員家族と共に美味しい海の幸を食べたり施設体験をしたりと普段接することがなかなか無い会員家族と親睦を図ることができました。12月度例会「交通遺児クリスマス会」では、パントマイムショーの鑑賞と体験を通じて児童達と共にクリスマスの雰囲気を楽しむことができました。参加していただいたご家族は少なかったですが、夏に引き続いて参加いただいたご家族ばかりで楽しみにしてくれている児童達がいることを嬉しく感じました。

その他にも9月には昌原青年会議所に来垣していただき、12月には昌原市を訪問し、さらなる友好関係を築くことができました。また、11月にはOB会の皆様とゴルフコンペの機会をいただき、現役会員はゴルフが苦手な会員が多くご迷惑をお掛けしましたが、スポーツを通じて大変有意義な時間をOB会の皆様と過ごすことができたと思います。

第63期後半も様々な事業を控えておりますが、微力ながらこれからも会の為に引き続き尽力させていただきます。また、新入会員獲得に関しては今期の大きな課題でもございますので、皆様には何卒様々な面でお力をお貸しいただき今後共ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

最後になりますが会員、特別会員の皆様の今年1年のご健康、ご多幸を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

例会(家族親睦会)

日時：平成30年11月18日(日) 場所：福井県海浜自然センター



親睦委員会
副委員長
小林 明人

平成30年11月18日に家族親睦会の事業を行いました。

蒲田親睦委員長はこの事業に並々な熱意を示していました。彼は会員とご家族をお連れするバスツアーで親睦と家族のきずなを深める1日を作るという明確なコンセプトを打ち出し、事業計画を進めました。

事業当日は9組の家族、お子様15名、総数43名の参加を得て、素晴らしい秋晴れの空のもとバスは出発しました。目指すは福井県です。

往路では、「福笑い」のレクリエーションを行いました。会員の顔写真から目鼻口眉の輪郭を切り取った福笑いのパーツを10セットほど作り、ご家族に渡して夫や父親のパーツを選んで顔面を復元してもらいました。会員にとっては、家族に注目してもらえる楽しいひとときになったことでしょう。

もう一つのレクとして、委員会からの質問に夫婦が同時に回答するゲームを行いました。お題にしたのは「初めてデートした場所は?」、「奥様の得意料理は?」、「相手のどんなところが好き?／好かれていますか?」といった質問です。ご夫婦にとっては、共通の思い出を確認し、お互いの思いを改めて知る機会になったと思います。パートナーへの愛情や家族を大事に思う気持ちが伝わって、心温まる時間になりました。

昼食の会場(ドライブイン山田)に着くころにはすっかり打ち解けた雰囲気になっていました。奥様方がおしゃべりをしたり、子どもらが追いかけて遊ぶ姿が見られました。みんなで賑やかにご飯をいただいて、お土産物屋さん(梅の里会館)に寄り、いよいよメインの目的地です。

福井県海浜自然センターでは、まず「ちりめんモンスターを探せ」のアトラクションを体験し、大人も子どもも夢中になってちりめんじゃこに混じった小生物を探しました。レアモンスターであるタツノオトシゴを見つけた子どもは嬉しそうでした。

施設には、福井県の海水・淡水に棲む生物が展示されているだけでなく、楽しい体験型設備が用意されていました。水槽の中の魚に餌をやる体験に、子どもらは大喜びでした。足湯もありますし、ドクターフィッシュ(手の垢を食べてくれます。)もいました。

センターの外には美しい若狭湾が広がっていました。これが最大の魅力であったと思います。あるいは浜辺を散歩して、あるいは座って海を眺めたりなどして、皆さん思い思いに楽しく、平和な時間を過ごされました。参加されたご家族から「子どもが小さくて外出が難しかったけれど、初めて家族で遠出することができて良かった。」との感想をいただいたことをよく覚えています。

復路では、敦賀の日本海さかな街に立ち寄って休憩と買物を済ませ、大垣に予定時刻に到着し、無事解散のはこびとなりました。

調べてみたら、家族旅行は第49期以来の事業だったようです。参加者の負担もそれなりになるため、続けるのが難しかったのかもしれないと想像します。しかし、長い時間を共有すること自体が、会員・家族相互の親睦を深めるよい方法といえます。特別な家族の思い出と竹の子会の事業が重なることは、会員とご家族の会に対する思い入れと結束力を強め、活動をいっそう盛り上げることに繋がることでしょう。そんな家族旅行の価値を再発見できた、意義のある事業であったと思います。



例会(交通遺児クリスマス会)

日時：平成30年12月2日（日） 場所：大垣フォーラムホテル



奉仕委員会
副委員長
花木 泰雄

皆さんこんにちは！62期入会の花木泰雄です。

今回の交通遺児クリスマス会は担当委員として、企画から運営までいろいろと経験をさせていただきました。ありがとうございます！

まず、この事業を終えて思うことは大垣竹の子会の一つの事業であるクリスマス会は多くの方の協力により成り立っているということです。

公益財団法人 大垣交通遺児育英会様、当日参加いただきました衆議院議員棚橋泰文様他ご来賓の皆様、チャリティゴルフにて善意を頂いた皆様、多くの方の気持ちの上に事業が成り立ち大垣竹の子会が代表しこのような会を開かせていただいていること、ほんとうにありがたいと思っています。

今回は3家族6人の児童が参加してくれました。

参加してくれた児童にどう楽しんでもらうか？委員会でたくさん話し合いました。

アトラクションではコメディシネマパントマイムアーティスト（メランコリー鈴木さん）によるパントマイムショー、たけのこサンタを企画しました。

メランコリーさんは、体験型アトラクションで楽しんでもらいたいという大場委員長の思いで来ていただきました。

児童、保護者様にはステージ前まで集まってもらい、バルーンアートから始まり皿回しパントマイム

ショー、簡単にできるパントマイム技を教えてもらい、少し恥ずかしがりながらも楽しげな姿を見ることができました。また、会員や来賓を巻き込んでのパフォーマンスでたくさんの笑い声に包まれたいい時間でした。

交通遺児の事業は夏の旅行と冬のクリスマス会とありますが、先輩会員と児童とのいい関係がとても心地良いものです。

交通遺児という面では交通事故の減少により、対象の家族が少なくなっているのが実際です。喜ばしいことですが、事業としてはどうしていくか課題もあるかと思います。

しかし、交通遺児という苦境の児童に楽しい時間を過ごしてもらいたい。この思いは、形は変わることにはあっても続けていくべき大切な事業だと思います。

最後に大垣竹の子の一員として貴重な体験をさせていただきました。

ありがとうございました！



大垣竹の子会OB会ゴルフコンペ

日時：平成30年11月6日（火） 場所：関ヶ原カントリークラブ



親睦委員会
副委員長
金山 幸生

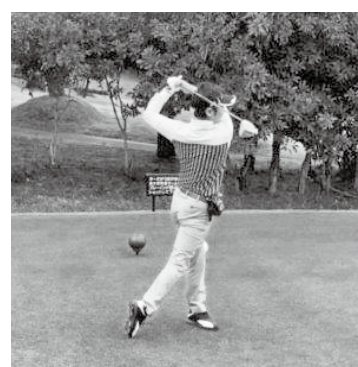
皆様こんにちは、54期入会の金山幸生です。去る11月6日に関ヶ原カントリークラブにて行われました、大垣竹の子会OB会ゴルフコンペに参加させて頂きました。

現役からは4名の会員が参加させて頂きました。当日の天気ですが、朝は少し雨が降ってしま

したが、私の晴れ男パワーでスタート時には回復し非常にいい天気でプレーする事が出来ました。私事ではありますが、ここ3年程ゴルフクラブは全く握っておらず、昨年の5月からとあるきっかけで再びゴルフに熱中しだし、今では、つま先から、頭の先までゴルフにはまってしまいました。腕前の方はまだまだ発展途上ですが…。

今回久しぶりにクラブを握り、先輩方と一緒にプレーし、交流出来たのはなかなかいい機会ですし、同じ趣味を通じて先輩方と同じ時間を共有し、色々なお話をさせて頂けたのはとても楽しく、素晴らしい時間を過ごす事が出来たと思います。今回、参加出来なかった会員も居ますので、次回参加させて頂ける時は、今回よりも参加人数を増やして参加させて頂きたいです。当日はありがとうございました。

そして、現役会員の皆様へ、みんな！ゴルフしようぜ！



2 3 月の予定

2月度例会(講師例会)

日 時 平成31年 2 月22日（金）
場 所 奥の細道むすびの地記念館

3月度例会(会員親睦会)

日 時 平成31年 3 月27日（水）
場 所 粕川オートキャンプ場